



# かまみち 議会だより

**NO.12**  
2006.2.10発行



## 第4回定例会 (平成17年12月)

補正予算・新年のあいさつ	.....	P 2 ~ 3
条例改正	.....	P 4 ~ 5
一般質問	.....	P 6 ~ 14
請願・意見書等	.....	P15
議会を傍聴して	.....	P16

発行／宮城県加美町議会 編集／議会広報編集調査特別委員会

〒981-4392 宮城県加美郡加美町字長檀75-2 TEL.0229-67-5120 FAX.0229-67-5130  
<http://www.town.kami.miyagi.jp/> E-mail:gikaijimu@town.kami.miyagi.jp

# ルームを仮教室に



耐震診断の結果、使用禁止となった中新田中学校

# 12

## 月定例議会

第4回定例会は12月15・16日の2日間開催され、一般会計や条例改正など原案どおり可決しました。

### 主な内容

歳入	●町 税	4,148万円増
	●居宅生活支援費国庫補助金	1,075万円増
歳出	●町 債	2,330万円減
	●中新田中学校改築設計業務委託料	1,837万円増
	●コミュニティ助成金	490万円増
	●新規雇用促進奨励金	600万円増
	●中新田公民館アスベスト対策事業	710万円増
	●町税還付金	1,150万円増
	●検診委託料	1,232万円減

## 一般会計

# 149億円に

## 6257万円の増額補正

# ランチ

## 主な質疑

### 中新田中学校改築へ

**Q** 昨年度実施された耐震診断の結果、

耐震数値が0.3以下の棟もあり著しい強度不足により、改修ではなく改築の方向で今回提案なされたが、この件についてからの対応について伺う。

**A** 耐震診断の結果

あるいは結果について早急に判断できるような体制を組んで万全を期してまいります。当分の間、生徒・職員の皆さんには大変不便をおかけする訳ですが、国・県とも協議を進めながら、できるだけ早い時期に改築できるよう努力していきます。

**Q** 地区民による意向調査の結果と、

閉校後の地域振興策や跡地利用について伺う。

**A** 55戸全戸から回答を頂き、閉校やむなしという回答が大多数であり、またPTAからもぜひ本校で学ばせて欲しいという要望書が出され、廃校の手続きを

### 漆沢分校3月閉校

とするよう教育委員会で決定しました。子供たちの教育を第一義に考えて区民の皆さんは大変良い決断をしたと思います。この決断を重く受けとめながら皆さんの希望に沿うような地域振興策なり跡地利用を考えていくつもりです。

## 新年のあいさつ

加美町議会議長

米澤 秋男



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、パキスタン・インドなどで大きな地震が発生し、多くの人々が犠牲になり、国内では、兵庫県福知山線での列車事故、年末には山形県羽越線で突風による列車脱線事故等、多くの犠牲者を出し、さらには女性や子供が被害される事件が相次いで発生、表現する言葉を失うほど悲しみの多い年でした。一刻も早い解決を願うとともに、被害にあわれた方々に心から哀悼とお見舞い申し上げます。

また、昨年は政治経済にも、大きなうねりがあり、本町においても長引く景気の低迷や、少子高齢化の進展により、様々な課題に直面し、大きな

変革期に遭遇しているのではないかと思います。こうした厳しい環境を乗り越えるためには、色々な手立てが必要ですが、第一に、心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できる町づくりが必要と考えます。そのためには、常に行政区長さんをはじめ、多くの町民の方々と協働しながら自治意識を高めなければと考えます。

私達議会は、複雑多様化する地方自治をよく把握し、多くの課題に取り組まれている町政に対し、議会の立場を貫きつつ、町民の幸福を最優先に協力してまいりる所存であります。

結びにこの一年、町民皆様にとり、実り多き年でありますとともに御健勝でありますことをご祈念申し上げます。新年のあいさつといたしま

# 条例改正

## 漆沢分校が閉校になります



想い出いっぱい

◇加美町立学校の設置に関する条例の一部改正  
 加美町立西小野田小学校 漆沢分校の廃校について改正を行うもの。  
 同分校は、明治16年に開校され、児童数が100名を超える時代もあったが、年々児童数が減少し、平成4年4月からは全学年複式学級となり、平成17年4月現在の児童数は5名、来年度は4名となる見込みで、極めて少ない人数での学校運営は、児童の学習面等に支障を来す状況になっており、平成18年3月31日付で廃止となる。

### 下水道料金が次のように改定されます

区分	排除汚水量	金額(税込み)
基本使用料	10立方メートルまで	1,355円
超過使用料	10立方メートルを超え 30立方メートルまで	1立方メートルにつき 151円
	30立方メートルを超え 100立方メートルまで	1立方メートルにつき 162円
	100立方メートルを 超えるもの	1立方メートルにつき 178円
牛の尿	1頭につき	190円

◇加美町下水道条例の一部改正  
 下水道事業は高資本費対策として交付税措置が図られており、この算定基準が変更になることに伴い改定するもので、あわせてこれまで外税としていた消費税を、税込価格の総額表示とするもの。  
 ※牛の尿については特定環境保全公共下水道に排除されたものに限る。

◇加美町簡易排水処理施設条例の一部改正  
 下水道使用料の改定に伴い、簡易排水処理施設の使用料も同額に改定することと、指定管理者制度の活用に向けて条文を整理するとともに、指定管理者が行う業務を規定したもの。

# 災害に備えて給水区の接合

◇加美町水道事業の設置等に関する条例の一部改正

鹿原北向  
⇔ 約1000m  
鹿原昼ヶ坂

地震など災害時においても断水することなく安定的に水を供給するために、小野田給水区と宮崎給水区の接合及び宮崎給水区と中新田簡易水道との接合が必要となり、中新田簡易水道を水道事業に統合し、接続を可能にするもの。

◇加美町水道事業給水条例及び加美町簡易水道事業給水条例の一部改正  
下水道使用料を税込み価格の表示に改正したことから、水道料金の基本料金、超過料金、メーター使用料、加入金についても総額表示するもの。

◇結合する箇所  
米泉西原

⇔ 約500m  
下多田川一本杉原

◇加美町簡易水道事業の設置に関する条例の一部改正  
中新田簡易水道事業と漆沢簡易水道事業からなる加美町簡易水道事業のうち、中新田簡易水道事業分を加美町水道事業に統合することから、中新田簡易水道事業に係る条項を削除するもの。

原台崎

⇔ 約1000m

宮崎下浦

北寺宿

⇔ 約1000m

小泉天神前

水道料金が次のようになります  
(税込)

用途	基本料金(1ヶ月につき)		超過料金 (1立方メートルにつき)
	水量(立方メートル)	料金	
家事用	10	2,000円	200円
営業用	10	2,000円	200円
団体用	10	2,000円	200円
臨時用	10	4,000円	400円

◇加美町農村婦人の家等の一部改正  
指定管理者制度活用に向けて施設の設置条例を改正するもの。施設は次のとおり。

加美町農村婦人の家、中新田道放牧場、小野田薬菜原放牧場、小野田下台放牧場、小野田天ヶ岡放牧場、宮崎田代放牧場、加美町薬菜農産研修施設。



薬菜ファーム



農村婦人の家

# 町政を問う

14件 9議員が登壇



近藤 義次 議員

## 老人世帯への 今後の対策は

介護保険制度が10月から改正になったために居住費、食費の支払いが困難になった方々、また国保税未納の老人世帯への今後の対策について。

## 軽減・助成措置を 講じています

介護保険法の改正に伴い、施設に入所されている方の居住費や食費負担が新たに増えることとなりました。町では、特に所得の低い方や非課税世帯の方々に対して介護保険負担限度額認定証を交付して負担の軽減措置を講じているほか、特別養護老人ホームやデイサービスセンターでの介護サービス利用についても負担軽減のための助成措置を講じています。

保険税未納対策については、納税相談等を実施し、減免措置等それぞれの事情に応じて対応してまいります。



出初め式の様子

## 防災対策における 消防活動の充実を

地震対策を含めた災害に強い安心・安全の町づくりのために期待できる消防団活動の充実について。

## 自主防災の充実に努めます

災害時の対応や復旧等の頼りとされる消防団ですが、現在、定員660名に対し現員623名という状況ですので、一層の団員の確保に努めてまいります。また、地域の自主防災組織の機能強化と充実にも努めてまいります。



一條 光 議員

## 畜産の振興策 今後の展開は

## 生ゴミ処理の 対応も検討します

本町農業のなかで、稲作に次ぐ販売額を占める畜産について、今後環境に配慮しながら、持続性のある力強い経営確立を目指すべきと考える。

そこで現在、土づくりセンターが計画されているが、学校などから出される食品残さの処理もできる施設にできないか。

また、浄化槽の併設の考案方についても伺いたい。次に、平成16年度は出荷頭数が1740頭、販売額7億5千万円の肉用仔牛の更なるブランド化への取り組みが、関係者への所得向上に資することからその対応についても伺いたい。

食品残さ、いわゆる生ゴミについても、副資材として土づくりセンターで処理することは有効であると思います。ただし、きちんと分別の上で投入しないと生産される肥料の質の低下を招きますので、どの程度までを対象とするかについては現在検討中です。

尿処理のための浄化槽については、水分調整や処理に要する副資材の調達等困難な課題が多く、土づくりセンターとの併設の可否について今後調査検討してまいります。



高値で賑わう総合家畜市場



多頭化が進む酪農

## 奨励制度の充実に努めます

この地域の生産牛のブランド化を目指し、優良種を保留牛として確保するため、町をはじめ各種団体による奨励補助金制度を実施しています。こ

の制度は肉用牛改良の上で不可欠であり、基金の創設等今後さらに充実していく必要があると考えます。



高橋 源吉 議員

## 薬菜施設群の現状と 今後の振興策は

近隣市町村に類似施設が多数存在している現状において、実質的収支、利用状況、物品納入等で

地域還元された金額はいかほどか、また来年度から指定管理者制度のもと「薬菜振興公社」が自己責任において管理運営にあたるわけですが、今後の振興策を伺います。

## 町、セキスイ、振興公社が 一体となって進めます

薬菜施設群の平成16年度の決算収支は1億849万円の赤字、この収支から温泉施設利用に伴う入湯税を差し引いた実質的な収支は7568万円の赤字となりますが、100万人を超える観光客に加え、振興公社職員等の雇用、地元商店からの物品等購入費を合わせた

6億3280万円が地域振興あるいは間接的な利益として地域に還元されております。

薬菜施設群は、平成18年4月1日から指定管理者として薬菜振興公社等での管理運営となり、サービスの向上と経費の節減につながっていくことを期待しています。



薬菜施設群

セキスイのリゾート計画は、建設計画の遅れからリゾート法に基づく10年間の延期申請がなされ、今後は町、セキスイ、薬菜振興公社等が一体となって薬菜地域の振興策について検討を進めてまいります。

## 町有施設のアスベスト 検査結果について

石綿による健康被害は社会的にも大きな関心を集めており、加美町も所有する建築物を調査したところですが、その調査結果について伺います。

## 早急に除去作業を進めます

町有の304施設のうち、21施設で具体的な検査を行った結果、中新田公民館とバッハホールでアスベストの含有が確認され、その除去工事費を今回の補正予算に計上しており、早急に除去作業を進めてまいります。





佐藤 善一 議員

## 旧ミツボシ縫製旭工場の環境整備と跡地利用は

ミツボシ縫製株式会社  
が自己破産し、旭工場に  
おいては操業中止になっ  
て8年が過ぎた現在でも  
建物が崩壊したままの状  
態にある。これまで、会  
社の再建や整理回収の推  
移を見守ってきたが、未  
だ手つかずの状況に地域  
住民の不安は増すばかり  
である。よって町が土地  
を購入して、除雪ステー  
ションを建設し、生活環  
境の整備と同時に除雪機  
具の強化を図るべきと思  
うがどうか。

町が取得する方向で  
進めています

旧ミツボシ縫製旭工場  
は、再三にわたる競売に  
もかかわらず落札者がな  
いことから、町は特別代  
理人である弁護士と今後  
の方策について協議した  
結果、町がこの跡地を取  
得する方向で作業を進め  
ながら、今後の跡地利用  
の方向性を見定めてまい  
ります。



路線バスの廃止バス停

## 宮交バス路線3割廃止 その影響と対応は

宮交グループが県内で  
郡部中心の赤字61路線を  
来年度中に廃止する考え  
を示し、補助金の増額や  
代替輸送で赤字が可能な  
路線は存続させる方向で  
関係自治体と協議すると  
の報道があったが、  
①町内で廃止しようとす  
る路線はどこか  
②今後どのような考えで  
宮交との協議に臨むの  
か  
③住民の立場に立った総  
合的な足の確保、バス  
運行について伺う。

今年度中の運行体制に  
向け検討します

町に対して平成18年度  
中に廃止したいとの申し  
出があった路線は、中新  
田線、小野田線、宮崎線  
等6路線で13系統あるこ  
とから、町内を運行する  
バス路線は、東小野田車  
庫から古川駅前までの小  
野田線、宮崎上町から賀  
美石を經由し古川駅まで  
の宮崎線の2路線だけと  
なります。  
利用者が減少している  
今後は、効率的な運行  
の面からも乗り合いタク  
シー制度なども視野に入  
れ、地域の皆さんの需要  
等を調査しながら、平成  
18年度中の運行体制確立  
に向けて具体的な検討を  
進めてまいります。



一條 寛 議員

## 子育て支援と定住人口 増加策について

出生率が低下し続け、将来の日本の活力の低下が危惧されている今、本町でも町の活力を維持向上させるため、定住人口の増加を目指し、若い人達に「子育てするなら加美町」と言って加美町に住んでもらえるよう、出産祝い金を現在の第三子から第一子からの支給に改正すること、子育て世帯の方が町営住宅に優先的に入居できる制度へ改正し、子育て支援を強化すること、またまもなく団塊の世代が定年退職を迎えます。都会で定年を迎える方の中で第二の人生を、自然豊かな地方

での生活を望む人を、積極的に受け入れること、これらの施策を実施して町の活性化を図るべきと考えますが、町長の考えをお伺いいたします。



子育て支援の強化を（小野田東保育所）



白子田地区むつみの丘

## 子育てしやすい環境づくり 適地をホームページで紹介

出生率の低下は大変厳しい状況にあり、出産祝金の支給拡大ということ、たくさん子供を生んでいただけるかどうか、少し疑問に思います。

多くの父母が働いている現状から、乳幼児ならゼロ歳児保育等、学童では放課後児童クラブ等を充実させ、まずは、子育てしやすい環境づくりに努力し、支援していきたいと考えております。

また、町営住宅の優先入居については、多くの

要望があれば、今後、入居基準の緩和や特別入居枠の設定などを検討すべきと考えています。

それから、町外からの定年退職者等の受け入れ体制では、以前白子田地区を分譲した経緯がありますが、家まで建てられず定住に至っていないのが現状のようです。やぐらい周辺他、適地をホームページで紹介するなど、定住化促進の方法を検討してまいります。



星 義之佑 議員

## 体育施設 その有効利用は

宮崎地区の陶芸の里スポーツ公園体育施設について、今後どのような有効利用を考えているのか、合併して3年目に入りますが、まだまだ不協和音が見え隠れしています。そういう中で、宮崎地区は野球場をはじめ、陸上競技場や体育館などが集中しており、これらの施設をもっと整備して、種々の大会を誘致して体育の拠点として、体育発展の向上を目指し、加美町の活性化を図ることが急務と考えるが所信を伺いたい。



陶芸の里スポーツ公園



### 多くの方に利用 いただけるよう努力します

陶芸の里スポーツ公園については、郡、大崎地区の各種大会のメイン会場として、さらには、県レベルの大会にまで使用され、利用度が増加傾向にあります。利用団体からは、サブグラウンドや合宿所の要望も出されており、その対応が課題となつていますが、多くの方

に利用いただけるよう努力してまいります。一方、町民全体の体育施設としての活用が不足しているのではないかと、いう反省もあり、今後、各地区体育館との連携による行事の整理を行う方向で、全町民の利用を考えていきます。

## 児童の安全確保を

れから10日後の12月3日、栃木県今市市で小1女児の遺体が発見された。何れも小学校1年生の女の子が犠牲になった事件であった。

年の暮れを前にして、学校帰りを狙った低学年の小学生の殺人事件が相次いで発生しました。去る11月22日午後広島市で小1女児がダンボール箱入りで捨てられ、そ

まったく無抵抗の女児を殺害することは、許し難いことである。未然に防ぐことは不可能なのか。本町では未然防止にあたり、どのような対策を考

### 万全な体制を期し 各種団体に協力していただく

児童生徒の安全確保に簡所を地図に示し、各行については、校長会、教頭、政区の区長さん、防犯指会、教務主任会で説明し、導隊、安全安心パトロール、PTAなどに協力をすようお願いしています。いただき、対応していく。また、通学路で危険な方策を考えております。



三浦 英典 議員

## 農業経営 安定対策について

新たに19年度から実施予定の品目横断的経営安定対策が発表された。これは4 ha以上の耕作面積を有する認定農業者や集

落で認められた、一定要件を満たした営農組織等が対象となる訳ですが、加美町においてははかかなり少ない人数であり、組織数になると思われます。

これからの1年3ヶ月の猶予期間にどう増やしていくのか。

また、この網かけから漏れた人、組織にどう対応していくのか。

我が町の農業農村の活性化に大きく関わる事であり、当局の考え、対応を伺います。

### 集落営農への 取り組みを検討

農業経営安定対策について、町では、国の品目横断的経営対策を見越して、いわゆる出し手と受け手が一体となった集落

営農への取り組みを検討するために、加美町水田農業推進協議会を窓口として経営体育成講座を開講しています。

これまで4回講座を開き、また全戸アンケート調査等を実施し、各課題

や集落の枠組み等について検討に入っており、18年度も継続していく考えです。

町としては、認定農業者の数や集積面積を増やして、大規模受託農家をつくり、加美町の農業生産を確保していくことが必要ですので、先進事例なども参考にしながら進めてまいります。



農作業風景



佐藤 澄男 議員

## 土づくりセンターの 進捗状況はいかに

これまででも一般質問等で議論してきたが、その進捗状況について質した。議会に対して未だ説明の無い中で、11月に小野田地区正副区長に対する説明会が開かれたと聞くが、その意図するところは何か。本日資料も配付されているが、立地場所を2ヶ所に特定し1つは葉菜山麓旧獣医畜産大  
学用地内とされているが、この地は町の観光施設の入口に当り、旧小野田町時代に計画された際にも除外された地区である。ここになぜこの施設を建てねばならないのかという町民の率直な声が多数寄せられている。更にこの地域は本年2月議会において議決された過疎地域自立促進計画に、葉菜の里宅地造成事業として明記されており、この立地にはかなり問題があると指摘せざるを得ない。

必要性は等しく認める施設ゆえに、立地の合意形成を誤ることなくと考えるが、いかに。

これまででも一般質問等で議論してきたが、その進捗状況について質した。議会に対して未だ説明の無い中で、11月に小野田地区正副区長に対する説明会が開かれたと聞くが、その意図するところは何か。本日資料も配付されているが、立地場所を2ヶ所に特定し1つは葉菜山麓旧獣医畜産大  
学用地内とされているが、この地は町の観光施設の入口に当り、旧小野田町時代に計画された際にも除外された地区である。ここになぜこの施設を建てねばならないのかという町民の率直な声が多数寄せられている。更にこの地域は本年2月議会において議決された過疎地域自立促進計画に、葉菜の里宅地造成事業として明記されており、この立地にはかなり問題があると指摘せざるを得ない。



登米市中田町の土づくりセンター



## 整備推進研究会で検討中

土づくりセンターについては、行政報告や予算質疑を通して説明を申し上げながら、酪農家の皆さんにご意見を伺うことなどを行ってきました。計画の進捗状況は、18年度に具体的な計画策定を行い、採択申請を提出するため、現在、その作業を進めており、説明会等も実施してきました。また、建設主体は町、管理主体は農協との基本  
の了解を得ています。場所は、土づくりセン

ター整備推進研究会で検討し、費用の面から町有地という観点に立ち、葉菜原旧大学用地と青木原埋め立て処分場の西側の2箇所を絞り、部内で了解しているところです。しかし、葉菜原旧大学用地が宅地造成用地として過疎計画にありますので、土づくりセンターがこの地に決定すれば、宅地造成の場所の変更に伴う過疎計画の変更も必要になると考えています。



工藤 清悦 議員

## 高齢者福祉その対策は

国では介護保険の改正に着手し、食事や居住費などの利用料金の改正がなされました。

来年4月からは、包括支援センターの創設や、介護予防に重点を置いた施策が展開されようとしております。

町ではこのような介護保険の改定に、どのように対処していくのか伺います。

また、町では高齢者福祉対策については、健康維持や体力増進、仕事や文化活動を通じた生きがいづくりなど、それぞれの課で施策を展開しております。

それぞれの課が連携して役割を分担し、効率的に機能を発揮していくことが求められると思われるのですが、今後の方向について伺います。



高齢者のレクリエーション大会



介護を受ける高齢者

## 効率的・効果的な事業を推進

国では、介護保険法の改定に伴い、平成18年4月から介護予防に重点をおいたシステムに施策の転換を図ることとしており、町でもその準備をしているところであります。

具体的には、高齢者保健福祉計画を審査設置し、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行い、地域包括支援センターの創設や予防事業の内容を審議していただき、高齢者が住み

生活が送れるような事業を進めてまいります。

また、平成16年度に策定しました「げんき加美町21」にうたっているように、町では、生き生きとした元気な高齢者が増えるよう様々な事業を展開していますが、これからも、教育委員会、体育協会、文化協会、ボランティア友の会等と連携を図りながら効率的、効果的な事業を推進してまいります。

# 意見書

## 「事業仕分け」による行財政の効率化を求める意見書

国債残高は583兆円に達する見込で小泉内閣は財政健全化の為に歳出の削減に努めているが、高齢化社会の影響により社会保障関係費が大きく増えている。この際、徹底的に行政のムダを省くため、国

の全事業を洗い直す「事業仕分け」を実施すべきである。これは民間の専門家による視点で徹底した論議を行い、歳出削減を実施するもので評価されている。

国民へのサービスを低下させないため、「事業仕分け」の手法による大胆な歳出削減をし、財政の効率化を図ることが望ましい。

提出先

内閣総理大臣

小泉 純一郎

内閣官房長官

安倍 晋三



# 請願書

## 加美町の野球施設に関する請願書

理由

①大会等を開催した場合に練習場の必要性があるため。

②現在のスコアボードは外野スタンドにあり、不便でほとんど使用していないため。

請願趣旨

①加美町陶芸の里スポーツ公園野球場の南側にサブグラウンドを増設されたい。

②加美町陶芸の里スポーツ公園野球場のスコアボードを電光製のスコアボードに変更されたい。

なお、この請願書は教育民生常任委員会において審査することに決定しました。

請願者

加美町野球協会

会長 猪股清貴

紹介議員

猪股 信俊

尾形 勝

高橋 源吉

沼田 雄哉



## 新たに指定管理者が決まりました

施設の名称	指定管理者	期間
加美町宮崎温泉施設等(陶芸の里温泉交流センター・他)	(株)陶芸の里宮崎振興公社	18.4.1~21.3.31
加美町郷土文化保存伝習館	(株)陶芸の里宮崎振興公社	18.4.1~21.3.31
加美町宮崎緑地広場	(株)陶芸の里宮崎振興公社	18.4.1~21.3.31
加美町山宝倉	(株)陶芸の里宮崎振興公社	18.4.1~21.3.31
加美町ふれあいの森公園パークゴルフ場	(株)中新田地域振興公社	18.4.1~21.3.31
加美町地域食品加工センター	(株)中新田地域振興公社	18.4.1~21.3.31
加美町あゆの里物産館	(株)中新田地域振興公社	18.4.1~21.3.31
加美町まちづくりセンター	加美商工会	18.4.1~21.3.31
加美町地域特産生産施設(培養センター)	中新田茸培養組合	18.4.1~23.3.31

# 議会を傍聴して思うこと



原町地区  
早坂忠雄 さん

まず感じるのは傍聴人があまりにも少ないことです。私も年数回の議会ながら半分傍聴できればいい方で恥を感じます。しかし傍聴することは議会の見識と施策の方向性を探る唯一の手段と考え意義あることと思いません。また有権者の立場から議会を見守る姿勢をもつことは、有権者としての義務でもあり一人でも多くの方々が議会に関心をもつて欲しいものです。次に質疑応答については、全体的に質問も答弁も発言内容のポイントが絞りきれないような気がしてなりません。そのせいか質問と答弁の内容にも食い違いがある様な気がして残念であります。たしかに質問回数も制約もあるやに聞きますが、そうであれば尚更のこと。質問者は質問のポイントを要領よく絞って適格明解に問い、答弁は的をそらすことなく誠実明確な大人の答弁を望みたいものです。

最後に、今、国政では行政の名のもとに税制・年金、介護・健保を含む医療等々国民生活を直撃する諸問題が目白押しなのなか、当町としては何の方向性も施策の一端に見えて来ません。真剣な取り組みを望みたい。

## あなたも傍聴してみませんか

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催されます。

日程のお問い合わせは議会事務局まで

TEL 67-5120

昨年12月定例会では小野田中学校3年生の皆さんが傍聴にきました。



## 編集後記

あけましておめでとうございます。昨年末よりの豪雪で新聞、テレビでの報道が毎日のように続いております。各地で人命にかかわる災害を耳にし、本町での雪害対策は万全であろうかと思案致しております。人ごととは思わず、防災への意識を高め、横のつながりを強くし、備えを再確認する必要があります。広報委員会では、町民の皆様に興味深く見て頂き、魅力的な紙面が出来るよう努めてまいりたいと思っておりますので、本年も宜しくお願い致します。

### 編集委員

委員長	佐藤 正憲
副委員長	門脇 幸悦
委員	一 條 光
”	吉岡 博道
”	三浦 英典
”	沼田 雄哉